

# ZEB

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

平成28年度

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金

## ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業

本事業はZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の構成要素となる、高性能建材や高性能設備機器等の導入に際して、その情報の提供に同意する事業者に対し、費用の一部を補助するものです。



補助率等

補助率：補助対象経費の2/3以内 補助金額の上限：10億円/年

公募期間

1次公募

平成28年4月11日(月)から  
平成28年5月23日(月)17:00必着

2次公募(予定)

平成28年5月下旬から  
平成28年6月下旬

3次公募(予定)

平成28年6月下旬から  
平成28年7月下旬

※2次公募は1次公募において、3次公募は1次公募および2次公募において、公募予算に達しなかった場合に実施します。

対象

### ■ 補助対象事業者

建築主等(所有者)、ESCO(シェアードセービングス)事業者、リース事業者等

### ■ 交付要件(概要)

- ZEB設計ガイドラインを作成するための設計データを開示できること。
- 建物全体の一次エネルギー消費量を50%以上削減できること。ただし、その他の一次エネルギー消費量および再生可能エネルギーを利用した発電量は考慮しない。
- 外皮性能の基準を満足すること。
- BEMS装置を導入すること。
- エネルギー区分ごとに計測・計量・データを収集・分析・評価できること。
- 建築物省エネ法第7条に基づく第三者評価機関による『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready いずれかの省エネルギー性能評価の認証を、原則として事業完了までに受けること。

### ■ 補助対象設備

ZEB 実現に寄与する高性能建材、空調、換気、照明、給湯、BEMS 装置等で構成するシステム・機器、ならびにこれに関する実施設計費など。(裏面参照)

### ■ 補助対象建築物(概要)

新築、既築、増築および改築の延床面積2,000m<sup>2</sup>以上の下記の建築物

(ただし、地方公共団体の建築物は対象外とする)

- 事務所等
- ホテル等 / ホテル、旅館
- 病院等 / 病院、老人ホーム、福祉ホーム
- 百貨店等 / 百貨店、マーケット
- 学校等 / 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、大学、高等専門学校、専修学校、各種学校
- 集会所等 / 図書館、博物館、体育館等
- 集合住宅 (延床面積を問わない。ただし分譲集合住宅を除く)

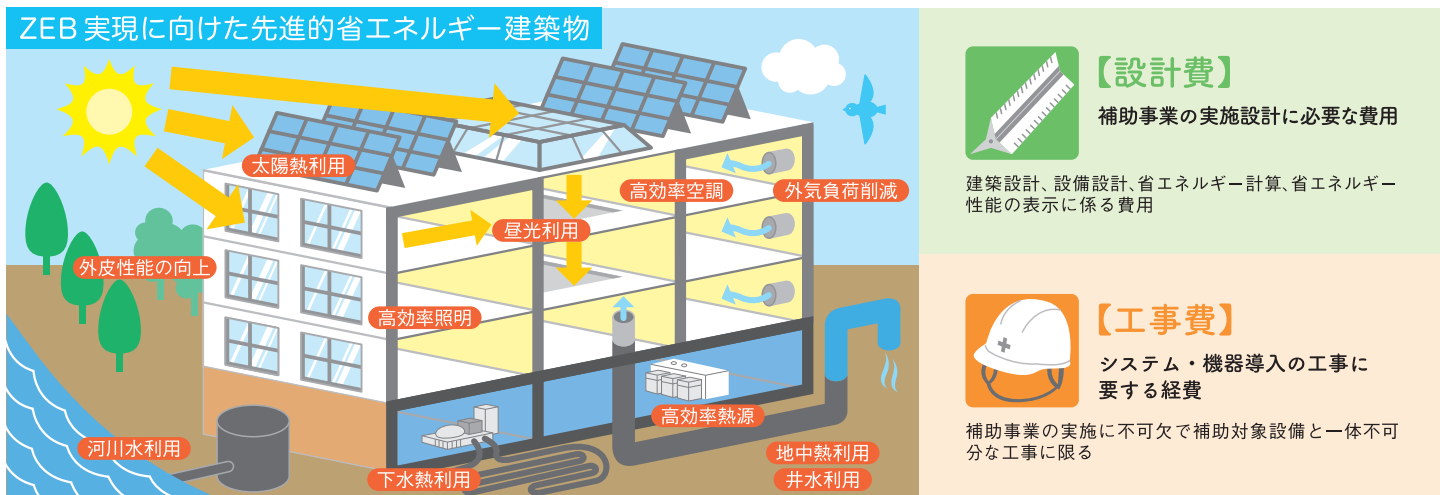
● 公募の方法 | 上記の補助対象建築物について、建物規模、地域区分ごとに採択枠を設けて公募します。

補助事業の詳細は、SII ホームページ  
および公募要領を必ずご確認ください

<https://sii.or.jp/zeb28/>

一般社団法人  
SII 環境共創イニシアチブ  
Sustainable open Innovation Initiative

■ 補助対象範囲(概要) ビルの省エネルギー化を推進し、ZEBを実現するための高性能建材や高性能設備機器などのうち、以下に該当する設計費、設備費、工事費が補助対象範囲になります。



### 【設計費】

補助事業の実施設計に必要な費用

建築設計、設備設計、省エネルギー計算、省エネルギー性能の表示に係る費用



### 【工事費】

システム・機器導入の工事に要する経費

補助事業の実施に不可欠で補助対象設備と一体不可分の工事に限る

### 【設備費】

機械装置などの購入、製造等に必要経費



#### 断熱

建物外皮性能を向上する場合に限る

断熱材、Low-E 複層ガラス、高性能窓（断熱・遮熱性能に優れているもの）、日射遮蔽型のブラインドやルーバーなど



#### 空調・給湯

高効率機器に限る

熱源機器および器具、熱源付帯設備（熱源機器の設置と一体不可分の設備に限る）、ポンプ、空調機器、高効率給湯機器など



#### 換気

省エネ機器に限る

インバータ制御ファン、モータダンパなど



#### 照明

高効率機器に限る

制御付LED照明、有機EL照明、光ダクト、ミラー集光装置付きトップライト、照明制御盤、制御用配管配線および付属品など



#### 再生エネ設備

未利用エネルギー、コージェネなど

再生可能・未利用エネルギー設備（但し再生可能エネルギー発電設備は補助対象外）、コージェネ設備、蓄電システム（創蓄連携に限る）など



#### BEMS

自動制御機器を含む

制御部（制御機器、計測計量装置など）、監視部（中央監視装置、伝送装置、通信装置など）、管理部（BEMS装置）



#### 電源

高効率機器等

受変電設備（高効率トランス本体）、負荷設備（動力制御盤、分電盤など省エネ機器と一体不可分の設備に限る）

# ZEBとは

平成27年12月に公表された「ZEBロードマップ検討委員会 とりまとめ」（経済産業省 資源エネルギー庁）により、ZEBについて以下の定義が示されました。

## ●ZEBとは（定性的な定義）

- 【ZEB】** 年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物
- Nearly ZEB** 『ZEB』に限りなく近い建築物として、ZEB Readyの要件を満たしつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた建築物
- ZEB Ready** 『ZEB』を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物

本補助事業では、【ZEB】、【Nearly ZEB】、【ZEB Ready】を含めた「広義のZEB」をZEBと示しています。

## ●ZEBの判断基準（定量的な定義）

ZEBは、以下の定量的要件を満たす建築物とされています。

名称	基準値からの削減率	
	創エネ除く	創エネ含む
【ZEB】	50%以上 かつ	100%以上
Nearly ZEB		75%～100%未満
ZEB Ready		50%～75%未満

- 創エネ（再生可能エネルギーによる発電）は自家消費分および余剰売電分に限る（設置場所は敷地内）。
- 計算方法は、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令」（平成28年経済産業省・国土交通省令第1号）またはこれと同等の方法による計算で「その他負荷」を除き設計時で評価します。

補助事業の詳細は、SII ホームページおよび公募要領を必ずご確認ください

<https://sii.or.jp/zeb28/>

問い合わせ先/申請書提出先

**sii** 一般社団法人  
**環境共創イニシアチブ**  
Sustainable open Innovation Initiative

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 審査第二グループ ZEB担当

〒104-0061 東京都中央区銀座2-16-7 恒産第3ビル 7階

TEL:03-5565-4063 FAX:03-5565-4062

【受付時間】 平日10:00～12:00/13:00～17:00

（通話料がかかりますのでご注意ください）